

か。」

ア. 私たちは、学習意欲をたかめるためにどのようなふうをしているか。

イ. 私たちは、教具教材（ラジオ、テレビ、統計図表等）をいかに活用して学ぶべきか。

ウ. 学習活動をもりあげるために、どんなことが障害となっているか。それをいかにのりきったらよいだろうか。

エ. 私たちは青年学級生としての自覚と一般の理解をうけるためにどのようにしたらよいだろうか。

③ 部会編成

学習体験発表を参加者全員できたいうえ、4部会を編成し、共通学習テーマで行なった。

第1部会 18才未満農村学級生

第2部会 18才以上 〃

第3部会 18才未満都市学級生

第4部会 18才以上 〃

④ スポーツ交歓

ア. ブロック対抗ソフトボール大会

イ. ブロック対抗バレーボール大会

ウ. ブロック対抗運動会

エ. キャンドルサービス

⑤ 学習体験発表

各教育事務所管内代表一名、一人6分以内

「私たちの教具教材をこのように活用して学習効果を高めている」

入賞者（賞状授与）

- 1位 五十嵐美代子（本郷町青年学級）
- 2 渡辺 明江（須賀川勤労青年学級）
- 3 岡本 美代子（石川実業青年学級）
- 4 鈴木 義昭（梁川町青年学級）
- 5 菊地 正文（新地村青年学級）
- 6 加藤 雅子（船引町勤労青年学校）

(8) 効果

収穫期に入って晴天になったため、稲刈作業がはじまって、参加取止の連絡が50名ほどになった。今回は考慮すべきである。参加者の態度、活動等誠にりっぱで昨年より一段と進歩していた。引卒指導者もよく協力され、立派な内容になった。学習体験発表も内容すぐれ、多くの話し合いによって、相互に啓発された。体育祭は若さの発散、心のふれ合いを生じ、効果あり楽しかった。3泊4日にしてもらいたいこと、収穫期を外にすて開催されたいとの要望があった。全般に、楽しく充実した有意義な会になったことは、趣旨を達したものと考えられる。

9 県研究青年学級の委嘱

(1) 趣 旨

勤労青年教育における青年学級は公教育機関として、ますます重要な役割を果たしている今日、後期中等教育との関連を考えながら効果的な青年学級の開設運営の方法等について継続的に研究し、その成果について資料の提供を求め、もって本県青年学級の充実振興方策の検討の資とする。

(2) 委託青年学級

教育事務所	委託教育委員会	研究青年学級名
信 夫	福島市教育委員会	福島市中央青年学級
伊 達	梁川町 〃	梁川町青年学級
安 達	本宮町 〃	南達産業学園
郡 山	郡山市 〃	安積農業専門学院
岩 瀬	須賀川市 〃	須賀川市勤労青年学級
両 沼	会津高田町 〃	会津高田町農業青年学級
石 川	古殿町 〃	古殿町農業青年大学校
双 葉	大熊町 〃	大熊町農業青年学級

(3) 研究課題

次にかかげる課題の中から一つ以上について、具体的な資料が得られるように研究を実施する。

- ① 学級生の能力、学習意欲や勤労生活の実態に即応してどのようなプロジェクト学習が考えられるか。
- ② 学習内容を進めるため、最低どのような施設設備が必要か。
- ③ 都市の勤労青年および都市近郊青年の学習活動を進める上に効果的な組織と方法はどのようにしたらよいか。
- ④ 講師、学級主事等の指導体制をどのようにし確立してたらよいか。
- ⑤ 学習活動を盛り上げるための学級PTA（後援組織）の組織と活動をどのように進めたらよいか。

(4) 研究委託費

1学級 2万円（8学級）

(5) 効果

本年度より新たな課題のもとに、上記8学級に、二年間にわたる研究を委託した。各学級とも、2～3の課題を選んで、積極的に地域性をもった研究をすすめ、充実した中間報告を提出した。今後、年2回の訪問により、さらに研究を深めるよう指導し、設置の趣旨に沿う、良い資料の提供を期待したい。

10 県青年学級研究協議会の設置

(1) 趣 旨

進みゆく社会の要請および青年動態の現状にかんがみ勤労青年教育の振興充実をはかるため公教育機関としての青年学級のあり方を研究する一方、各種青年学級の開設促進にあたりとも指導助言を行ない、本県勤労青年教育の振興をはかる。

(2) 委 員 20名

	氏名	年令	職 名	勤 務 先	住 所
信 夫	山河 信海	52	公民館長	福島市中央公民館	福島市御山町西坂 8
伊 達	中村 敏男	51	社会教育	梁川町教育委員会	伊達郡梁川町
安 達	武藤 正四	51	社会教育主事	岩代町教育委員会	安達郡岩代町小浜横町1の2
郡 山	土田 功	30	社会教育主事教育次長	郡山市立富久山公民館	郡山市富久山町久保田字金堀田47
岩 瀬	高久田大郎	54	公民館長	須賀川市立公民館	須賀川市本町 7
南 会	室井 康弘	46	社会教育主事	田島町教育委員会	南会津郡田島町後原3772の24